

「温かさ感激」「挑戦の気持ち大切」 カナダ派遣の1年生

が報告会 広尾高

2023/12/09 18:15



カナダでの体験を報告する高桑さん

【広尾】広尾高校（柴山真純校長）と国際交流を続けるカナダ・アルバータ州ブルックス市に派遣された、同校1年の上野想生さん、高桑航太さんによる帰国報告会が8日、同校体育館で開かれた。2人はフレンドリーなカナダの国民性に触れ、国際交流の大切さを学んだ。

過去3年は新型コロナウイルスの流行で中止しており、4年ぶりの派遣。9月23日～10月2日の日程でカナダに滞在し、一般家庭にホームステイしながら、相互派遣を行うブルックス市コンポジット高校の生徒らと交流を深めた。粒針崇史教諭が随同行した。

報告会は在校生のほか、村瀬優町長、菅原康博教育長、堀田成郎町議会議長、町商工会の齊藤政明会長などの来賓や広尾中生徒も聴講した。

2人は現地のスナップ写真を交えて、ホームステイ先や学校での交流の様子を紹介。他民族国家ゆえ

異文化への抵抗が少ない国民性が印象に残り、高桑さんは「人種間の垣根がなく、誰に対してもフレンドリー。日本人の私たちも温かく迎えてもらい感激した」と振り返った。

上野さんはコミュニケーションの重要性を実感。「向こうから積極的に話し掛けてくるので、自分もなんとか会話ができるようになった。意思疎通に挑戦する気持ちが大切なのだと学んだ」と話していた。

来年春にはコンポジット高校の生徒5人が来町し、広尾高の生徒らと交流を深める。（能勢雄太郎）